

# 昔の写真をパソコンへ

昔の写真を会のプリンタ(HP5521)で  
パソコンに取り込んでみよう

# 必要な環境



**スキャナ機能付きプリンタ**  
(コピー機能があればスキャナ機能  
通常付いています)

# スキャナ入力時の主な指定

1. 写真の大きさ（L版、2L版など）(\*1)
2. 出力の色指定  
（カラー、グレースケール、モノクロ）
3. **解像度**---別途説明
4. 出力ファイルの種類  
（**jpg**,**bmp**,**png**,**tif**など）

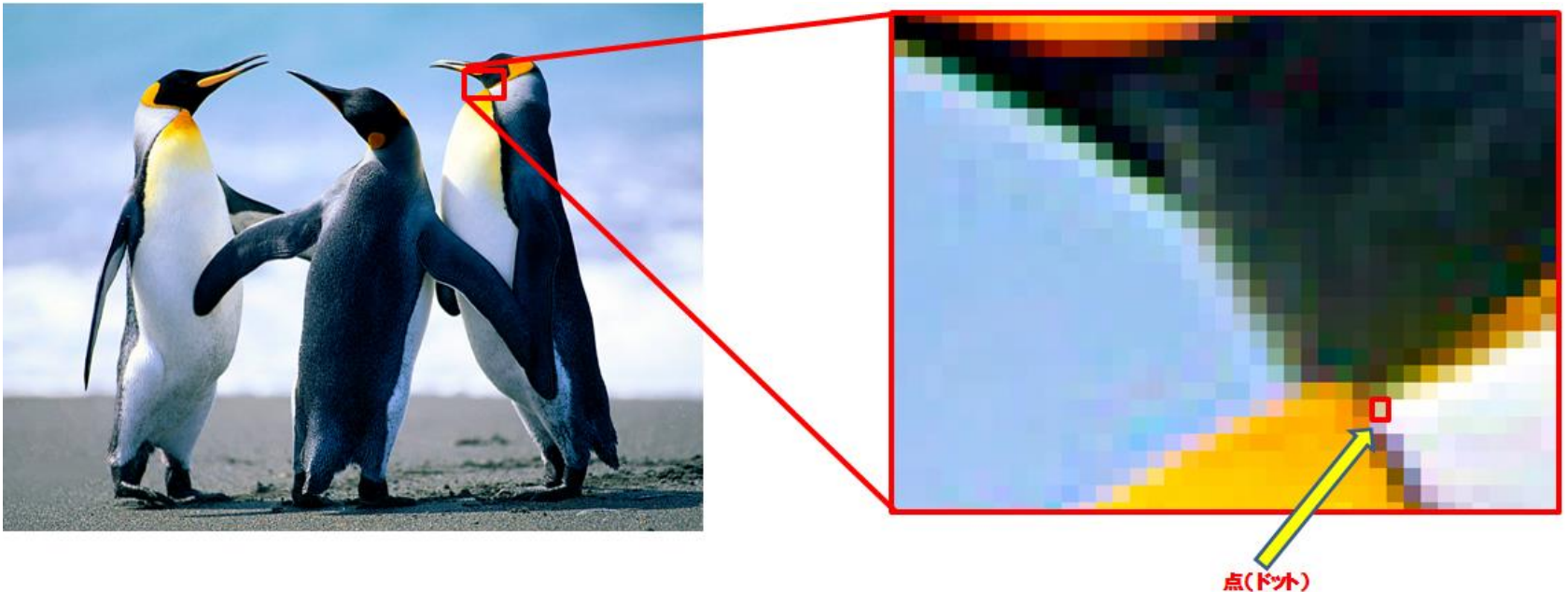
(\*1)参考：L版=3.5×5インチ(89×119mm)、KG版=4×6インチ(102×152mm)、  
2L版=5×7インチ(127×254mm)、6P(六つ切り)=8×10インチ(203×254mm)、  
A4=210×297mm、B4=257×364mm

# 解像度とは？

写真は**300dpi**が目安。

dpiとは → 1インチ(2.54cm)の幅にどのくらいの点(ドット)で読み取るか？

下記の写真を拡大すると右側のドットからなる。300dpiとは、1mmに12ドット。  
人の目でみるには十分な解像度。(=300 / 25.4)



各ドットはカラーでは色と明るさを、グレースケールでは色はないが濃淡を、モノクロでは白か黒を示す。

※参考:ドットの総数を画素数。(カメラの性能値:800万、1800万・・・)

## 解像度とは？（続き）

◆ **拡大印刷**する場合は、**解像度を上げる**。

(例) L版を読み込んで2L版で印刷する場合は1.4倍以上、400～600dpiが目安。

◆ 解像度を上げると読み取り速度は遅く、ファイル容量は大きくなる。

(容量の例) L版を300dpiでは、182KB。490dpiでは 490KB。

◆ 解像度を上げすぎないように注意！ **用途を考えて設定**。

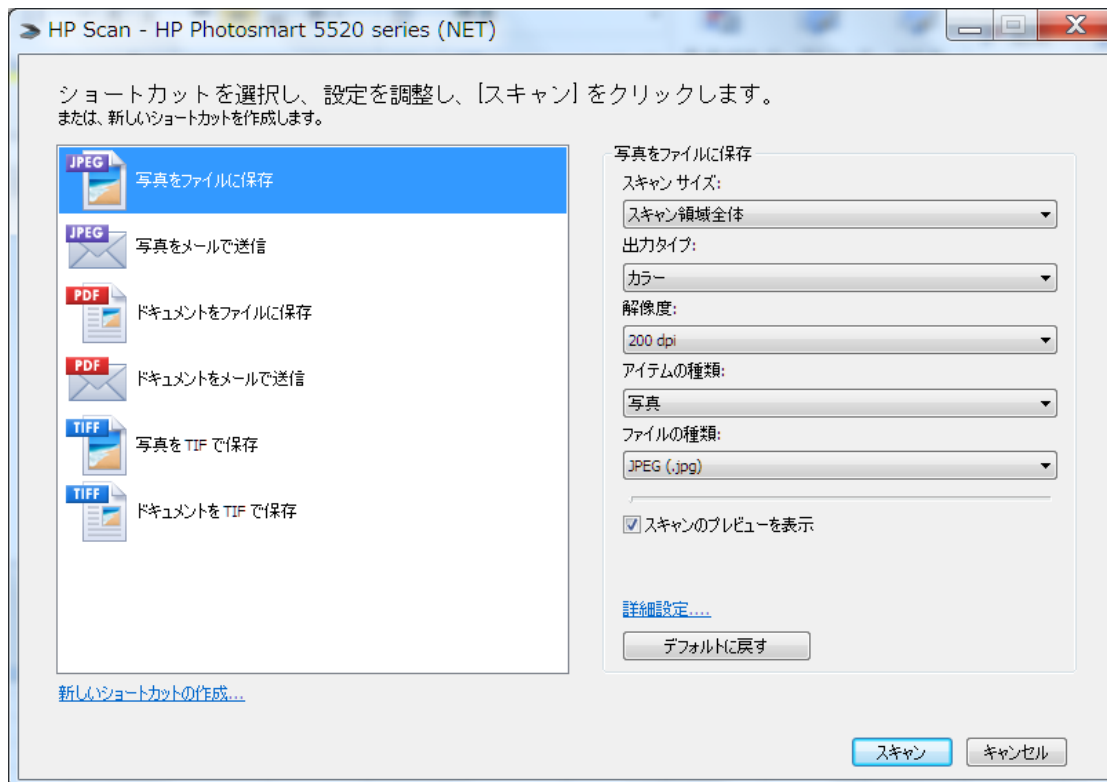
用途別の目安

- ・写真300dpi
- ・Eメールは96～150dpi ディスプレイ表示は96dpi。
- ・一般の文字資料は200dpiで十分。

※参考: フィルムを読む場合は解像度を高く(2400～)

# 実際にスキャンしてみます

1. L版写真を300dpiでスキャンし、縦横を回転後保存。
2. 大きめの写真を300dpiでスキャンし、トリミングして保存。



# 他社の例 EPSON SCANソフト

1. EPSON SCANを起動
2. 写真をセットし、全自動モードで「スキャン」。スキャンが始まる。



# EPSON SCANソフトの例 (続き)

## 3. 右記画面で自動処理。

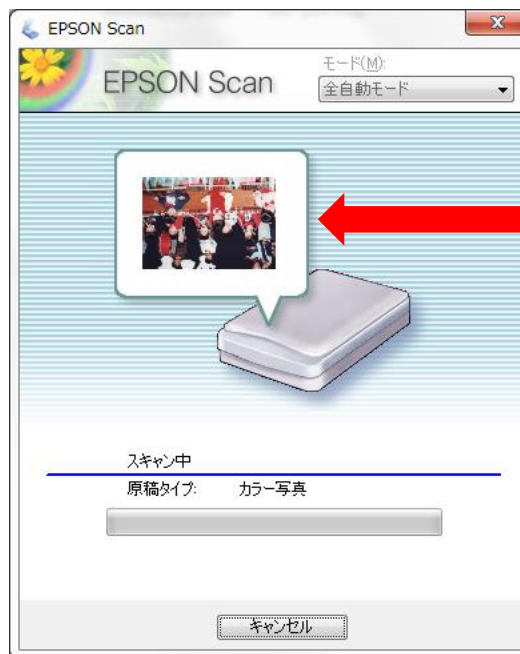
- ・ウォームアップ



- ・原稿タイプを自動認識

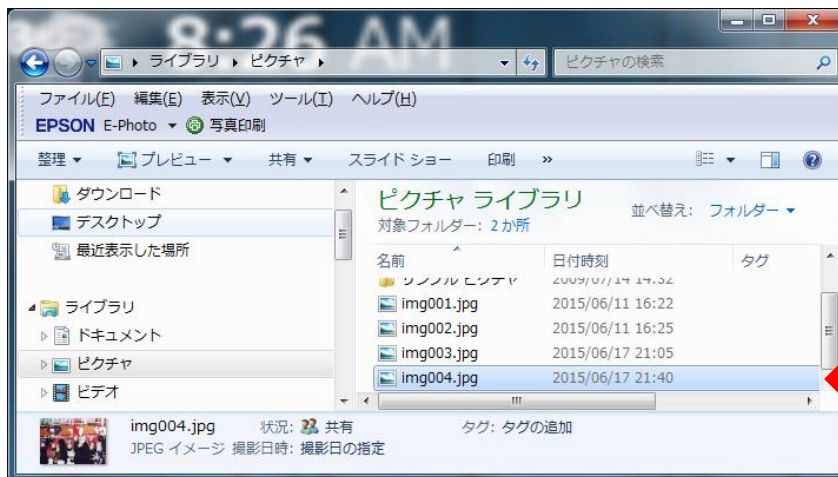


- ・認識した原稿タイプでスキャン



プレビューを表示

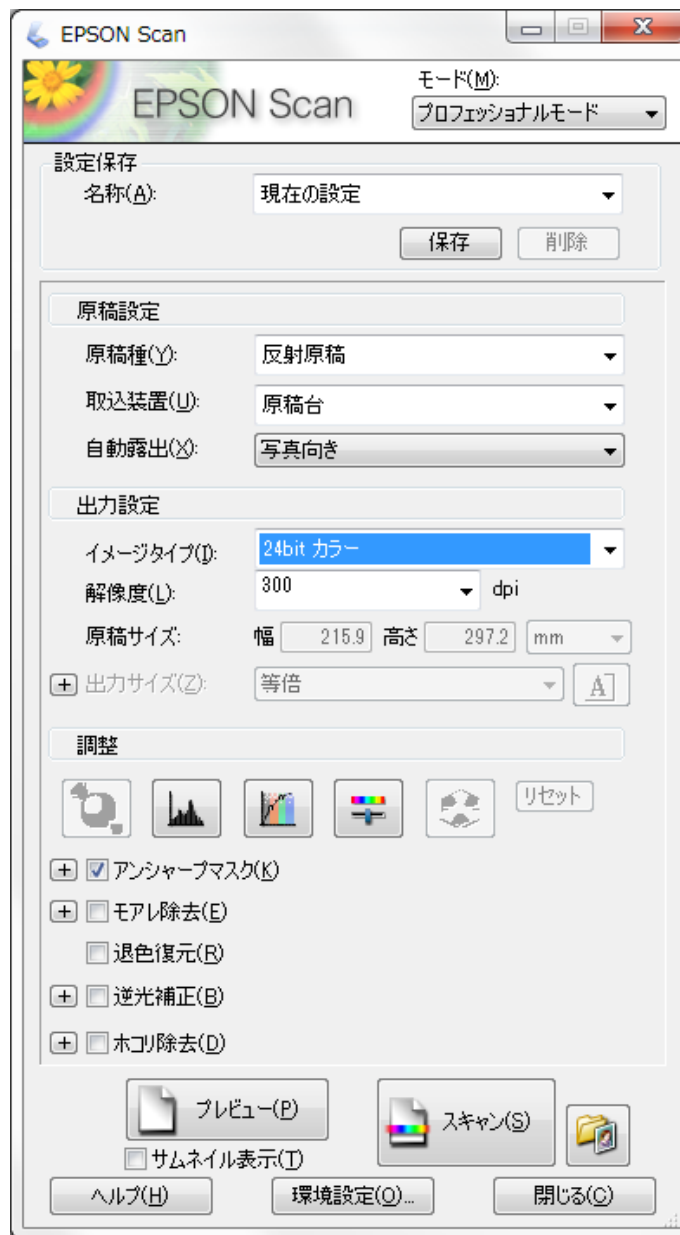
## 4. 自動的にピクチャフォルダに保存。





# EPSON SCANソフトの例 (続き)

## プロフェッショナルモードの例



# 製品仕様の見方

下記はHP5521製品仕様の例

通常の写真ならこれで十分。

スキャン機能	センサー	CIS
	 解像度	光学解像度 1,200 x 2,400dpi
	階調	最大24bit
	原稿サイズ	最大A4/レター
	その他機能	スキャン to メモリーカード、 <b>スキャン to PC</b> 、スキャン to 電子メール

※参考:その他に読み取りスピードやフィルムの読み取り可否についても記載されている場合あり

これでおしまいです。

